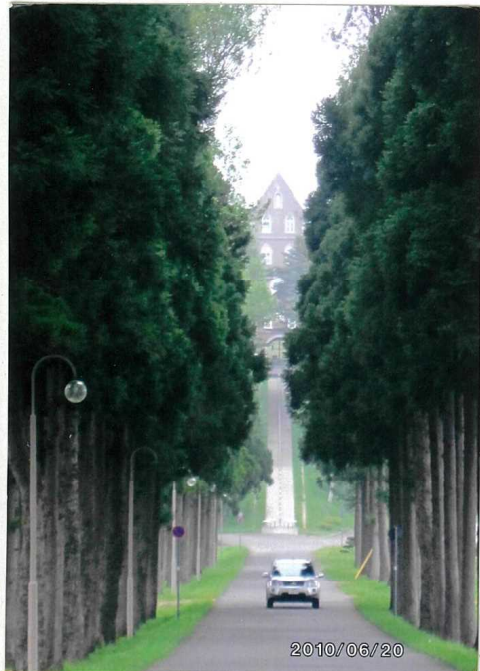


環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2010/06/20

「徒然草」の吉田兼好にも
同じ感覚があったようだ。
葵祭が終わった直後に御簾の
葵をささぎと取り去ってしまうことに
色もなく覚え「情緒かないと感ずる書ける」

「遠ざかる方、恋しき物、枯れ
たる葵」と、枕草子にある。
葵とは葵祭の時に部屋の
御簾などを飾る葵の葉
祭りが終わるとこの葉がいつの
間にか枯れてしまっていること
が時間の経過を感じさせ
恋しいと言っている。にぎやかなも
のを枯れた葵に覚えたか。



2020/12/08



2020/12/08

パブリックも閉会し、
これが一か月あまりにわ
たる「連の東京五輪」
パブリックの日程が
かすんで終わった。
大きな事故もなく終え
たという安堵と少々の
徒労感だろうが、
日本で今度いつ五輪が
あるだろう。
日本人は数十年は
その日本では重い荷物
に苦笑いで「後かきざり
するかも。!!」



2020/12/08



2020/12/08